



平成 21 年 4 月 16 日

各 位

東京都中央区日本橋兜町 1 番 10 号
平和不動産株式会社
代表取締役社長 金原 策太郎
(コード番号 8803) 東京・大阪・名古屋市場第一部、福岡・札幌
問合せ先 財務部長 山田 和雄
T E L 0 3 - 3 6 6 6 - 0 1 8 1

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 21 年 1 月 30 日の決算発表時に公表した平成 21 年 3 月期通期の業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

通期(平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	48,500	9,100	6,000	2,200	14 80
今回修正予想(B)	51,900	9,100	6,000	800	5 38
増減額(B-A)	3,400	—	—	△1,400	△9 42
増減率(%)	7.01	—	—	△63.64	△63.65
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	31,384	9,205	7,176	3,737	25 56

2. 個別業績予想の修正

通期(平成 20 年 4 月 1 日 ~ 平成 21 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	45,400	8,700	6,000	2,200	14 80
今回修正予想(B)	48,800	8,700	6,000	1,100	7 40
増減額(B-A)	3,400	—	—	△1,100	△7 40
増減率(%)	7.49	—	—	△50.00	△50.00
(ご参考) 前期実績(平成 20 年 3 月期)	28,212	8,644	6,854	3,691	25 25

3. 修正の理由

開発販売用不動産の売却前倒しにより売上高及び営業利益が増加した一方、低迷している現在の不動産市況を勘案して販売用不動産の今後の計画を見直し、売上原価にたな卸資産評価損を前回予想から増額して計上する見通しとなったこと、また保有する投資有価証券の時価の下落に伴う評価損が拡大し投資有価証券評価損の計上見込み額が増加する見通しとなったことにより業績予想を修正いたします。

個別業績予想も連結と同様であります。

4. 配当予想について

平成 21 年 1 月 30 日の決算発表時に公表した配当予想(1 株当たり第 2 四半期配当金 6.00 円、1 株当たり期末配当金 6.00 円、1 株当たり年間配当金 12.00 円)から変更ありません。

※上記の予想は、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる可能性があります。

以 上